



IKEDA ART MUSEUM

池田記念美術館

イケビふれあい通信

2026 春号

No.123

常設展示 スポーツ文化展示室・小泉八雲文学資料室

◆桑原収遺作展

昨年8月に亡くなられた桑原収先生の遺作展を6月6日(土)から開催します。桑原先生は南魚美術協会会長を6年間務めたこともあり、南魚沼の美術家の指導に大きく貢献してこられました。当館で開催している八海山夢展には1回展から20回展まで毎年出品。2000年頃は主に抽象的な作品を描いていた桑原先生が、夢展では特別に八海山の作品を出品してくれたのですが、「美術館で地元美術家中心の美術展を開催してくれているのだから応援したい」といった話をしてくれたのを覚えています。桑原先生は美術団体・一陽会の会員でもあり、理想を求めて絵画制作をされていました。

池田記念美術館では2017年に個展「桑



桑原収「軌跡・ハート 07'3 2007年

原収展 私の原点―半生の記録―を開催しました。この時は新潟大学教育学部美術科時代のデッサンや初期の油絵など、2000年頃までの作品が中心でした。今回の遺作展では、若い頃から晩年までの作品を一堂に展示します。ぜひご高覧ください。会期は7月5日(日)までとなります。(広田かおり)

◆文化講座・カルチャースクール

池田記念美術館では、年間を通してさまざまな文化講座、カルチャースクールを開催しています。文化講座は『美文字講座』『エアロヨガ教室』、そして今年度より、オリジナルの折り鶴をつくる『折り紙教室』を開講しました。3月に行ったプレ教室も盛況で、4月から始まった本教室にも引き続きお申込みいただいた方もいらっしゃいます。美文字講座、折り紙教室は月に1回、3ヶ月1クールとなっており、エアロヨガ教室は1クール8回になり、木曜日の午後7時30分から開催中です。前半30分はエアロピクスで体を動かし、後半でヨガを行います。

また、新潟日報社主催の新潟日報カルチャースクール魚沼教室も実施しており、現在、『基礎からの仏像彫刻』『みんなで楽しく太極拳』、4月からは『バテンレース』の教室が開講しました。新潟日報カルチャースクールのお申込みは新潟日报社様までお願いします。今年度も、講座、教室の他にもワークショップや講演会、哲学対話など、さまざまなイベントを考えていきたいと思えます。お楽しみに。(山口加奈子)

◆当館の教育普及活動

雪が解け、緑が美しい季節になりました。光の池には白く美しい鷺がよく遊びにきます。たまに2羽一緒にいるのを見かけますが、番(つがい)でしょうか。

池田記念美術館は、教育普及活動に力を入

れています。教育普及とは、作品を鑑賞して終わりではなく、ワークショップや講演会などのイベントや鑑賞補助ツールの作成、学校との連携など地域や社会に向けた取り組みのことです。当館では、近隣の教育機関へ出向いてワークショップを行う出前授業や企画展に合わせた講演会、地元高校生の探究活動の支援など、さまざまな活動を行っています。

昨年度は特に出前授業に力を入れ、多くの教育機関へ伺い実施しました。今年度は、出前授業など昨年の活動も継続しつつ、鑑賞補助ツールなど館内も充実させていきたいと考えています。どのようにしたら作品鑑賞がもっと楽しくなり、色々な発見をしてもらえるのか、美術館という場の可能性を模索したいと思えます。(山室葉由)

◆感謝と報告、出発します！

桜や樺の樹下に新芽の殻が大量に落下し、朝の清掃に難儀する毎日。美術館の周辺では八色ツツジが朝日に色鮮やかです。新緑も深まり、八色の森公園を散歩する人たちの姿ものんびりとして、いい時季になりました。

春夏秋冬、季節の移ろいを楽しんできて、美術館勤務の12年間があつという間に経過しました。十二支で言えば、ちょうど一周したところです。何事か為すことができたか覚束ないですが、ここで後進に美術館の運営を託すことにしました。ベースボール・マガジン社で長く編集に携わってきた石根左恵が新しい館長として就任します。着任次第、みなさまに紹介させていただきます。

今後は公益財団法人・池田記念スポーツ文化財団の事務局長として、地域連携事業を中心に活動する予定です。美術館を拠点に活躍中の地域おこし協力隊と協力しながら、これまで培ってきた出前授業や中高校生の探究活動支援などを拡充しつつ、美術館の未来像を構築していく所存です。(高橋良一)

①島田忠幸 八色の森の動物園 —プリニウスの動物たち—

■4月11日(土)～5月31日(日)

アルミニウムを主な素材として、ほぼ等身大の「プリニウスの動物」シリーズを制作している彫刻家の作品展。館内だけではなく、八色の森公園内にも野外展示。

②桑原收遺作展—こころの風景・人生の軌跡—

■6月6日(土)～7月5日(日)

1972年に一陽展に入選以来、90年奨励賞、2001年会友賞、02年に一陽会会員となり、長く美術教師を務めてきた作家の代表作を紹介。その画業を振り返ります。

③第27回 八海山夢展+第9回 八海山ジュニア展

■7月11日(土)～8月30日(日)

魚沼在住の美術愛好家を中心に、絵画、書道、写真、水石、工芸部門で約100名が出展する展覧会。令和7年度新潟県ジュニア展に入賞した近隣地域(南魚沼市と魚沼市)の児童生徒の作品も共同展示。

④壁を超えたか?—タマビのアレコレ—

■9月5日(土)～10月25日(日)

1970～90年代に多摩美術大学絵画学科で学び、その後も制作を継続している作家約50人が参加。各作家とも時代と真摯に対峙し、それぞれの「壁」と向き合ってきました。タマビという共通の空間に生きた作家たちの個の「壁」だけではなく、世代、戦争、ジェンダーといった社会の「壁」。その「壁」を作家はどう表現してきたのか、「壁」との勝負はどうなったのか。

⑤中高校生がキュレーションする探究美術展

■11月1日(日)～12月6日(日)

中高校生の探究活動と連携・支援する美術館構想のもとに2024年に初めて開催した探究美術展の第2弾。主に高校生が主体となって、内容、名称、宣伝、展示など美術展の実施にあたっての全ての課題を、対話や議論を通して決定・実践する注目の美術展です。

⑥第5回 大和文化祭

■11月7日(土)～11月8日(日)

昨年から当館を会場に開催することになった南魚沼市

大和地区の文化祭。絵画、書道、写真、絵手紙、パッチワーク、ロマンドール、生花など、各愛好家の作品を展示します。両日とも入館無料です。

⑦第46回 小千谷市展 市長賞・池田記念美術館賞特別展示

■11月21日(土)～12月6日(日)

小千谷市展で昨年創設された「池田記念美術館賞」の受賞作品と市長賞受賞作品、合計12点を紹介します。部門は、日本画、書道、水墨画、写真、洋画・版画、工芸・彫塑の6部門となります。

⑧第47回 南魚美術協会会員展

■12月10日(木)～12月13日(日)

昨年から当館を会場に開催。南魚美術協会に所属する会員の美術展です。絵画、彫刻、書道、写真部門の作品を展示します。3日間とも入館無料です。

⑨第71回 南魚沼都市児童生徒美術展

■1月5日(火)～1月19日(火)

南魚沼市と湯沢町の児童生徒の作品約400点と教職員の作品を展示。会期中、手仕事の作品を展示販売する雪見展と一箱古本市を開催。会期中は入館無料です。

⑩第16回 魚沼ベストショット展

■1月23日(土)～3月7日(日)

県展・市展などの入選者も多く、約50人の写真愛好家が参加して、魚沼に魅せられ撮影した自慢のベストショットを展示。15回記念展からは、魚沼を題材にした通常部門のほかに「テーマ」部門を新設しました。

⑪特別企画 雪の錯覚すべり台

■3月7日(日) 予定

明治大学の杉原厚吉先生が設計した「雪の錯覚すべり台」を八海山麓スキー場で一般公開します。

⑫長岡造形大学卒業制作校外展

■3月13日(土)～3月28日(日)

長岡造形大学の美術・工芸学科4年生有志が主体となって校外展を企画。当館では初開催となり、若い作家たちを支援し、地域の芸術活動向上に繋いでいきます。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】 9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
※冬季(1月～3月)の営業は、9:30～17:00
【休館日】 水曜日(祝日の場合は翌日休館)

【入館料】 一般500円(高校生以下無料)
【ホームページ】 <http://www.ikedart.jp>
【アクセス】
上越新幹線浦佐駅東口より約1km、徒歩15分
関越自動車道大和スマートICより車3分

